

平成19年12月期 第1四半期財務・業績の概況(連結)



上場会社名 日本マクドナルドホールディングス株式会社
(URL <http://www.mcd-holdings.co.jp/>)

平成19年 5月10日
(コード番号: 2702 JQ)

代表者 役職名 代表取締役会長兼社長 氏名 原田 泳幸
問合せ責任者 役職名 IRグループ部長 氏名 清水 章太郎 TEL:(03)6911-6061

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ①会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 :有
(内容) 法人税等の計上基準については簡便な方法を採用しています。
②最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 :無
③連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 :無

2. 平成19年12月期第1四半期財務・業績の概況(平成19年1月1日～平成19年3月31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注)金額は百万円未満を切捨

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年12月期第1四半期	96,462	12.1	5,011	107.8	4,960	136.6
18年12月期第1四半期	86,036	4.7	2,411	△ 19.9	2,096	△ 29.7
(参考) 18年12月期	355,696	9.2	7,380	129.9	5,708	99.6

	四半期(当期)純利益		1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
19年12月期第1四半期	2,875	—	21	63	—	—
18年12月期第1四半期	22	△ 98.8	0	17	—	—
(参考) 18年12月期	1,549	—	11	65	—	—

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当社グループの基幹ビジネスであるハンバーガーレストラン事業では、平成16年以降、顧客満足度の向上にむけて、QSCの向上というレストランビジネスの基本に取り組んでまいりました。

当第1四半期においては向上したQSCを基盤として、①平成19年1月に投入した新レギュラー朝食メニュー「マックグリドル」のヒット ②期間限定商品「メガマック」のヒット ③ドライブスルー店舗を中心とした24時間営業の拡大 ④快適な食事空間を提供するための店舗改装 ⑤¥100マックの強化、継続 ⑥コーヒー無料券配布等による新規顧客獲得といった各施策が相乗効果をもたらしました。加えて、様々なCSR活動がマクドナルドに対するブランド力を高め、顧客層の幅を拡大してきており、当第1四半期の好調な業績に結びつきました。

店舗展開につきましては、新規出店数はトラディショナル店舗(標準店舗)12店舗、閉店数はトラディショナル店舗10店舗及びサテライト店舗(メニュー限定小型店舗)17店舗の合計27店舗となり、当第1四半期末の店舗数は3,813店舗(前期末比15店舗純減)となりました。

以上のような活動の結果、当第1四半期の業績は、既存店売上高の前年比9.6%増加、既存店客数の前年比7.9%増加と順調に推移しております。また、システムワイドセールス(直営店舗とフランチャイズ店舗の合計売上高)は、1,197億15百万円(前年同四半期比11.3%増)となり、連結売上高964億62百万円(前年同四半期比12.1%増)、連結経常利益49億60百万円(前年同四半期比136.6%増)、連結四半期純利益28億75百万円(前年同四半期比28億52百万円の増加)となりました。

また、当第1四半期は1月度、2月度、3月度とも各月度別の全店売上高新記録を達成し、特に3月度は平成13年3月に記録した月間記録を6年ぶりに塗り替えました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

(注)金額は百万円未満を切捨

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
19年12月期第1四半期	194,467	128,511	66.1	966	54
18年12月期第1四半期	183,164	128,842	70.3	969	03
(参考)18年12月期	193,206	130,067	67.3	978	25

【連結キャッシュ・フローの状況】

(注)金額は百万円未満を切捨

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金 同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年12月期第1四半期	5,215	△ 3,972	1,357	13,939
18年12月期第1四半期	15	△ 3,205	2,360	10,421
(参考)18年12月期	17,469	△ 12,976	△ 4,405	11,338

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期末の総資産は、敷金・保証金が主に回収により10億5百万円減少したことや、投資有価証券が含み益の減少等により7億1百万円減少した一方で、現金及び預金が26億円増加したことなどにより、前連結会計年度末と比べ12億61百万円増加の1,944億67百万円となりました。

当第1四半期末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は前連結会計年度末比26億円増加し、139億39百万円となりました。

当第1四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、52億15百万円となり、前年同四半期比51億99百万円の収入増になりました。この収入増加の主な要因として、税金等調整前四半期純利益が前年同四半期比49億98百万円増加したこと及びその他の負債の増減額が前年同四半期比24億57百万円減少したことがあげられます。一方、収入減少の主な要因としては、前第1四半期に減損損失を20億86百万円計上したことがあげられます。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、39億72百万円となり、前年同四半期比7億66百万円の支出増になりました。これは、リモデル及び新規出店に伴う店舗設備等の取得による支出が前年同四半期比12億89百万円支出増になる一方で、店舗設備等の売却による収入が前年同四半期比3億62百万円収入増となったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、13億57百万円となり、前年同四半期比10億2百万円の収入減になりました。これは、短期借入金の純増額が前年同四半期比10億円の減少になったこと等によるものであります。

【参考】平成19年12月期の連結業績予想(平成19年1月1日～平成19年12月31日)

[業績予想に関する定性的情報等]

平成19年12月期中間期及び通期業績予想については、平成19年2月8日に公表した数値から次のとおり上方修正いたします。尚、本日付にて「2007年12月期 中間期・通期業績予想の修正に関するお知らせ」として別途公表いたしましたので、ご参照ください。

1. 平成19年12月期中間期連結業績予想の上方修正

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	178,000～182,000	1,300～2,500	500～1,500
今回修正予想(B)	185,000～193,000	5,000～7,000	2,000～3,500
増減額(B-A)	下限+7,000 上限+11,000	下限+3,700 上限+4,500	下限+1,500 上限+2,000
増減率(%)	下限+3.9% 上限+6.0%	下限+284.6% 上限+180.0%	下限+300.0% 上限+133.3%
(参考)	1株当たり予想当期純利益(通期)	15円 4銭 ～ 26円 32銭	

2. 平成19年12月期通期連結業績予想の上方修正

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	362,000～375,000	6,500～8,500	3,000～4,500
今回修正予想(B)	373,000～388,000	9,000～13,000	4,000～6,500
増減額(B-A)	下限+11,000 上限+13,000	下限+2,500 上限+4,500	下限+1,000 上限+2,000
増減率(%)	下限+3.0% 上限+3.5%	下限+38.5% 上限+52.9%	下限+33.3% 上限+44.4%
(参考)	1株当たり予想当期純利益(通期)	30円 8銭 ～ 48円 89銭	

3. 修正理由

前記[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]においてご説明しましたとおり、戦略の進捗が順調であることに加え、足元の業績も好調に推移しています。また、当社グループではこの機をとらえ、当連結会計年度の第2四半期以後、更なる収益構造の強化のため不採算店舗の閉店を加速し、当初閉店予定店舗数(50～80店舗)より約100店舗を追加閉店する予定であります。上記の中間期及び通期業績予想には、特別損失として約15億円程度の店舗閉鎖損失を見込んでおります。

これらの状況を踏まえて、中間期及び通期の業績予想を上記の通りに上方修正するにいたしました。

※ 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

<添付資料>

1. (要約)四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	当第1四半期 (平成19年3月31日)		前連結会計年度 (平成18年12月31日)		増減 (△印減)		前第1四半期 (平成18年3月31日)	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
(資産の部)									
I	流動資産		%		%		%		%
1.	現金及び預金	13,939		11,338		2,600	22.9	10,421	
2.	売掛金	8,533		8,440		92	1.1	7,721	
3.	たな卸資産	2,656		2,559		96	3.8	2,709	
4.	繰延税金資産	1,864		1,845		19	1.1	1,148	
5.	その他	5,683		6,006		△ 322	△ 5.4	4,867	
6.	貸倒引当金	△ 75		△ 75		—	—	△ 80	
	流動資産合計	32,602	16.8	30,115	15.6	2,487	8.3	26,788	14.6
II	固定資産								
1.	有形固定資産								
(1)	建物及び構築物	41,759		42,394		△ 634	△ 1.5	37,885	
(2)	機械及び装置	10,229		9,501		727	7.7	7,979	
(3)	工具器具及び備品	6,980		7,172		△ 191	△ 2.7	4,284	
(4)	土地	17,277		17,277		—	—	16,950	
(5)	建設仮勘定	100		106		△ 6	△ 5.7	54	
	有形固定資産合計	76,347	39.2	76,452	39.6	△ 104	△ 0.1	67,153	36.7
2.	無形固定資産								
(1)	のれん	1,189		1,271		△ 81	△ 6.3	1,322	
(2)	その他	4,779		4,149		629	15.2	3,967	
	無形固定資産合計	5,969	3.1	5,420	2.8	548	10.1	5,290	2.9
3.	投資その他の資産								
(1)	投資有価証券	4,267		4,968		△ 701	△ 14.1	5,790	
(2)	長期貸付金	31		37		△ 5	△ 14.9	62	
(3)	繰延税金資産	2,825		2,583		241	9.4	4,300	
(4)	敷金・保証金	66,435		67,441		△ 1,005	△ 1.5	68,911	
(5)	その他	6,973		7,251		△ 277	△ 3.8	6,005	
(6)	貸倒引当金	△ 985		△ 1,064		79	△ 7.4	△ 1,139	
	投資その他の資産合計	79,548	40.9	81,217	42.0	△ 1,669	△ 2.1	83,931	45.8
	固定資産合計	161,864	83.2	163,090	84.4	△ 1,225	△ 0.8	156,375	85.4
	資産合計	194,467	100.0	193,206	100.0	1,261	0.7	183,164	100.0

(注) 増減は当第1四半期と前連結会計年度との比較で表示しております。

(単位:百万円)

科目	当第1四半期 (平成19年3月31日)		前連結会計年度 (平成18年12月31日)		増減 (△印減)		前第1四半期 (平成18年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
		%		%		%		%
(負債の部)								
I 流動負債								
1. 支払手形及び買掛金	20,950		19,497		1,453	7.5	15,639	
2. 短期借入金	8,000		3,000		5,000	166.7	9,500	
3. 未払金	8,912		12,171		△ 3,258	△ 26.8	8,375	
4. 未払費用	9,151		9,965		△ 813	△ 8.2	8,032	
5. 未払法人税等	2,230		883		1,347	152.5	318	
6. 賞与引当金	2,990		1,694		1,295	76.4	3,279	
7. その他	10,458		12,768		△ 2,309	△ 18.1	5,462	
流動負債合計	62,693	32.2	59,979	31.1	2,713	4.5	50,607	27.6
II 固定負債								
1. 長期借入金	500		500		—	—	500	
2. 退職給付引当金	1,777		1,653		124	7.6	1,377	
3. 役員退職慰労引当金	83		77		6	7.9	56	
4. 再評価に係る繰延税金負債	508		508		—	—	508	
5. その他	392		420		△ 27	△ 6.5	1,272	
固定負債合計	3,262	1.7	3,158	1.6	103	3.3	3,714	2.1
負債合計	65,956	33.9	63,138	32.7	2,817	4.5	54,322	29.7
(資本の部)								
I 資本金								
II 資本剰余金	—	—	—	—	—	—	42,124	23.0
III 利益剰余金	—	—	—	—	—	—	64,866	35.4
IV 土地再評価差額金	—	—	—	—	—	—	△ 5,240	△ 2.9
V その他有価証券評価差額金	—	—	—	—	—	—	2,978	1.6
VI 自己株式	—	—	—	—	—	—	△ 0	△ 0.0
資本合計	—	—	—	—	—	—	128,842	70.3
負債及び資本合計	—	—	—	—	—	—	183,164	100.0
(純資産の部)								
I 株主資本								
1. 資本金	24,113	12.4	24,113	12.5	—	—	—	—
2. 資本剰余金	42,124	21.6	42,124	21.8	—	—	—	—
3. 利益剰余金	65,280	33.6	66,393	34.3	△ 1,113	△ 1.7	—	—
4. 自己株式	△ 0	△ 0.0	△ 0	△ 0.0	—	—	—	—
株主資本合計	131,517	67.6	132,631	68.6	△ 1,113	△ 0.8	—	—
II 評価・換算差額等								
1. その他有価証券評価差額金	2,223	1.2	2,639	1.4	△ 415	△ 15.8	—	—
2. 繰延ヘッジ損益	10	0.0	38	0.0	△ 27	△ 71.6	—	—
3. 土地再評価差額金	△ 5,240	△ 2.7	△ 5,240	△ 2.7	—	—	—	—
評価・換算差額等合計	△ 3,006	△ 1.5	△ 2,563	△ 1.3	△ 443	17.3	—	—
純資産合計	128,511	66.1	130,067	67.3	△ 1,556	△ 1.2	—	—
負債純資産合計	194,467	100.0	193,206	100.0	1,261	0.7	—	—

(注) 増減は当第1四半期と前連結会計年度との比較で表示しております。

<添付資料>

2. (要約)四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当第1四半期 (自平成19年1月1日 至平成19年3月31日)		前第1四半期 (自平成18年1月1日 至平成18年3月31日)		増減 (△印減)		前連結会計年度 (自平成18年1月1日 至平成18年12月31日)	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
I	売上高	96,462	100.0	86,036	100.0	10,425	12.1	355,696	100.0
II	売上原価	81,084	84.1	74,871	87.0	6,213	8.3	310,049	87.2
	売上総利益	15,377	15.9	11,165	13.0	4,212	37.7	45,646	12.8
III	販売費及び一般管理費	10,366	10.7	8,754	10.2	1,612	18.4	38,266	10.7
	営業利益	5,011	5.2	2,411	2.8	2,600	107.8	7,380	2.1
IV	営業外収益	284	0.2	249	0.3	35	14.3	1,108	0.3
V	営業外費用	335	0.3	563	0.7	△ 227	△ 40.4	2,780	0.8
	経常利益	4,960	5.1	2,096	2.4	2,863	136.6	5,708	1.6
VI	特別利益	191	0.2	128	0.1	62	48.8	167	0.0
VII	特別損失	24	0.0	2,096	2.4	△ 2,072	△ 98.8	2,503	0.7
	税金等調整前四半期 (当期)純利益	5,127	5.3	128	0.1	4,998	—	3,372	0.9
	法人税等	2,251	2.3	106	0.1	2,145	—	1,823	0.5
	四半期(当期)純利益	2,875	3.0	22	0.0	2,852	—	1,549	0.4

(注) 増減は当第1四半期と前第1四半期との比較で表示しております。

<添付資料>

3. (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	当第1四半期	前第1四半期	前連結会計年度
		(自 平成19年1月1日 至 平成19年3月31日)	(自 平成18年1月1日 至 平成18年3月31日)	(自 平成18年1月1日 至 平成18年12月31日)
		金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期(当期)純利益		5,127	128	3,372
減価償却費		2,356	2,176	8,958
減損損失		—	2,086	2,292
引当金の増減額(減少:△)		1,380	2,243	942
未回収商品券収入		△ 59	△ 29	△ 116
受取利息及び配当金		△ 22	△ 19	△ 191
支払利息		5	3	16
持分法による投資損益		0	△ 3	△ 27
固定資産除却損		184	384	1,979
売掛金の増減額(増加:△)		△ 92	681	△ 37
たな卸資産の増減額(増加:△)		△ 96	148	298
フランチャイズ店舗の買取に係る 営業権の増減額(増加:△)		81	△ 5	37
その他の資産の増減額(増加:△)		513	294	△ 1,587
買掛金の増減額(減少:△)		1,322	67	359
支払手形の増減額(減少:△)		130	△ 1,381	2,184
未払費用の増減額(減少:△)		△ 816	△ 134	1,791
その他の負債の増減額(減少:△)		△ 3,930	△ 6,387	△ 2,793
その他		△ 4	—	13
小計		6,078	253	17,493
利息及び配当金の受取額		0	1	113
利息の支払額		△ 2	△ 1	△ 7
法人税等の支払額		△ 860	△ 237	△ 129
営業活動によるキャッシュ・フロー		5,215	15	17,469

(単位:百万円)

科 目	期 別	当第1四半期	前第1四半期	前連結会計年度
		(自 平成19年1月1日 至 平成19年3月31日)	(自 平成18年1月1日 至 平成18年3月31日)	(自 平成18年1月1日 至 平成18年12月31日)
		金 額	金 額	金 額
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
店舗設備等の取得による支出		△ 5,001	△ 3,712	△ 14,233
店舗設備等の売却による収入		595	233	698
投資有価証券の満期償還による収入		—	—	416
敷金・保証金の差入れによる支出		△ 245	△ 278	△ 1,987
敷金・保証金の回収による収入		1,268	1,205	4,237
貸付金の回収による収入		5	6	36
情報システムの開発による支出		△ 594	△ 664	△ 1,627
その他		0	4	△ 516
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 3,972	△ 3,205	△ 12,976
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入れによる純増減額		5,000	6,000	△ 500
配当金の支払による支出		△ 3,642	△ 3,639	△ 3,904
自己株式の取得による支出		—	—	△ 0
財務活動によるキャッシュ・フロー		1,357	2,360	△ 4,405
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		△ 0	△ 0	△ 1
V 現金及び現金同等物の増加額(減少額:△)		2,600	△ 830	86
VI 現金及び現金同等物の期首残高		11,338	11,251	11,251
VII 現金及び現金同等物の期末残高		13,939	10,421	11,338